

## はじめに

埼玉県立文書館は、埼玉県に関する歴史的・文化的価値のある古文書、行政文書、地図などの資料を体系的に収集・整理し、県民共有の財産として永く後世に伝えていくことを目的に、昭和44年（1969）に設立されました。

県内外の皆様方から御寄贈・御寄託いただきました古文書は、現在までに総点数47万点を超えました。当館ではこれらの古文書の整理を進めるとともに、閲覧利用の便を図るために収蔵文書目録を編集・刊行してまいりました。令和5年度は、第62集として「諸家文書目録XI」を刊行いたします。

本目録では、新規公開となる埼玉郡騎西領正能村（現加須市）の正能家文書をはじめ、追加公開となる会田家、藤井家、小島家など14家7,215点の文書群を収録します。これらの文書群は、長らく目録刊行と閲覧提供が待望されてきました。本目録の刊行が、生涯学習や学校教育あるいは歴史、地理などの学術研究に幅広く活用されるであろうことを願っています。

末筆ながら、本目録の刊行に当たり、貴重な古文書を御寄贈・御寄託くださいました所蔵者の皆様をはじめ、御協力いただきました関係各位に厚くお礼を申し上げ、ごあいさつといたします。

令和6年3月

埼玉県立文書館長 福沢 景